



令和8年度・予算が決まりました



去る2月18日(水)に開催された第172回組合会で、
当健康保険組合の令和8年度予算が可決承認されましたので、その概要をご報告します。

一般勘定

収入支出予算額
8,732,397千円

被保険者1人当たり
721,090円

経常収入支出差引額
△1,111,745千円

令和8年度 収入支出予算概要表

◆ 一般勘定

収入		
科目	予算額 (千円)	被保険者 1人当たり額(円)
保険料	7,152,972	590,667
国庫負担金収入他	2,202	182
調整保険料収入	114,543	9,459
繰越金	200	17
繰入金	1,383,675	114,259
国庫補助金収入	7,286	602
出産育児交付金	4,413	364
財政調整事業交付金	28,104	2,321
雑収入	39,002	3,221
収入合計	8,732,397	721,090
経常収入合計	7,205,869	595,035

支出		
科目	予算額 (千円)	被保険者 1人当たり額(円)
事務費	186,048	15,363
保険給付費	3,946,477	325,886
法定給付費	3,847,206	317,688
付加給付費	99,271	8,197
納付金	3,879,869	320,386
前期高齢者納付金	1,645,121	135,848
後期高齢者支援金	2,234,745	184,537
病床転換支援金	1	0
日雇拋出金	1	0
流行初期医療確保拋出金	1	0
保健事業費	302,153	24,951
還付金	491	41
財政調整事業拋出金	114,543	9,459
連合会費	2,583	213
雑支出	33	3
子ども勘定繰入	200	17
予備費	300,000	24,773
支出合計	8,732,397	721,090
経常支出合計	8,317,614	686,838
経常収支差引額	△1,111,745	△91,804

予算の基礎数値

被保険者数	12,110人
健康保険料率	84.0/1000
介護保険料率	17.0/1000
子ども・子育て支援金率	2.3/1000



予算編成の前提となる 令和7年度の決算見込みについて

令和7年度決算は収入が不足することから別途積立金を取り崩し収入に繰り入れる収支マイナスの決算となる見込みです。なお、当初予算と比べると別途積立金からの繰入額は減少し、収支としては大きく改善しています。これは主にベースアップ影響による標準報酬月額と標準賞与額の増加に伴う保険料収入の増加や、被保険者数の減少による保険給付費や保健事業費などの支出の減少が大きな要因となっています。

令和8年度 一般勘定の予算編成について

主な収入

健康保険組合の収入の大半は、加入事業主と被保険者のみなさまからの保険料で成り立っています。今年度の保険料収入は近年のベースアップ影響も加味して71億5,297万円を計上しました。その他、高齢者拋出金負担を軽減するための国からの負担金や各種補助金、元本保証の安全性を確保した財産運用による利子収入などを見込んでいます。また、収入の不足分は別途積立金を取り崩し、収入に繰り入れることとし、13億8,368万円を計上しています。

主な支出

加入者のみなさまの医療費の一部や出産費用、傷病手当金などは保険給付費として負担していますが、保険給付費は医療の高度化や加入者の平均年齢の上昇、診療報酬改定の影響を考慮し、39億4,648万円(保険料収入の約55%)を計上しました。

高齢者医療制度へ拋出する納付金は、国からの諸率により算出のうえ38億7,987万円(保険料収入の約54%)を計上しました。

また、みなさまの健康づくりを支援するための保健事業費は3億215万円を計上のうえ、禁煙サポート事業や歯科予防事業に加え、今年新たに飲酒習慣適正化対策にも取り組んでいくこととしました。

収支差

令和元年度より収支マイナス(赤字)となることを前提とした保険料率を設定していることから、経常収支差で11億1,175万円の収支マイナス予算として編成しました。

◆ 介護勘定

収入		
科目	予算額 (千円)	被保険者 1人当たり額(円)
介護保険収入	1,012,780	141,648
繰入金	0	0
雑収入	592	82
収入合計	1,013,372	141,730

支出		
科目	予算額 (千円)	被保険者 1人当たり額(円)
介護納付金	924,408	129,288
介護保険料還付金	11	2
予備費	88,953	12,441
支出合計	1,013,372	141,730

◆ 子ども勘定

収入		
科目	予算額 (千円)	被保険者 1人当たり額(円)
子ども・子育て支援金収入	207,819	17,161
雑収入	4	0
一般勘定受入	200	17
収入合計	208,023	17,178

支出		
科目	予算額 (千円)	被保険者 1人当たり額(円)
子ども・子育て支援納付金	181,084	14,953
子ども・子育て支援金還付金	1	0
積立金	2	0
雑支出	1	0
予備費	26,935	2,224
支出合計	208,023	17,178

注) 被保険者1人当たり合計欄は四捨五入の関係により差異表示あり



介護勘定の予算編成について

厚生労働省からの介護納付金諸率の通知を受け、介護保険料率を17/1000に改定(料率DOWN)することにしました。

子ども勘定の予算編成について

今年度から施行となった「子ども・子育て支援金」について、支援金率は国から示された2.3/1000としました。制度の詳細は次のページをご覧ください。

理事長就任のご挨拶

理事長 太田 智之



令和8年4月19日付で健康保険組合理事長に就任いたしました、太田智之です。理事長就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当健康保険組合は、設立以来、被保険者ならびにご家族のみなさまの健康の保持・増進を基本使命として、医療保険給付事業および各種保健事業に取り組んでまいりました。これまで組合運営に携わってこられた歴代理事長をはじめ、関係者のみなさまの長年にわたるご尽力に、心より敬意と感謝を申し上げます。その歩みを引き継ぐ立場として、改めてその責任の重さを感じているところです。

さて、我が国の医療保険制度を取り巻く環境は、医療技術の高度化や医療費の高額化、さらには加入者構成の変化などを背景に、年々厳しさを増しています。医療費の伸びは制度全体における大きな課題であり、各健康保険組合においても、安定的かつ持続可能な制度運営が強く求められています。

このような状況の中、当健康保険組合においては、適正な保険給付を確保することに加え、疾病予防および重症化予防を軸とした保健事業の一層の充実が重要であると考えています。生活習慣病対策をはじめ、特定健診・特定保健指導の着実な実施や、健康に関する情報提供などを通じて、被保険者およびご家族のみなさまが日常生活の中で健康づくりに取り組める環境づくりを進めてまいります。

これらの取り組みを実効性のあるものとしていくためには、加入者のみなさま一人ひとりがご自身の健康に関心を持ち、主体的に行動していただくことが何より重要です。また、事業主をはじめ、関係各位のご理解とご協力が不可欠であることは言うまでもありません。

今後も、みなさまの声に耳を傾けながら、時代の変化にも的確に対応し、健全で信頼される健康保険組合の運営に努めてまいります。引き続き、当健康保険組合の事業運営に対し、温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。